



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 ロート製薬株式会社
 コード番号 4527 URL <http://www.rohto.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉野 俊昭
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 経営企画本部長 (氏名) 斉藤 雅也 (TEL) 06-6758-1211
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	103,113	11.3	13,134	25.4	13,436	22.7	8,186	15.5
25年3月期第3四半期	92,646	5.8	10,477	6.4	10,949	3.8	7,090	1.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 12,154百万円(65.7%) 25年3月期第3四半期 7,334百万円(39.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	70.12	69.83
25年3月期第3四半期	60.30	60.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	161,155	98,490	60.5
25年3月期	150,643	93,771	61.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 97,579百万円 25年3月期 92,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		8.00		9.00	17.00
26年3月期		9.00			
26年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,500	11.1	17,300	20.3	17,400	18.1	11,200	38.5	98.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料5ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	117,929,250株	25年3月期	117,924,768株
26年3月期3Q	4,554,394株	25年3月期	333,543株
26年3月期3Q	116,749,746株	25年3月期3Q	117,590,778株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 平成26年3月期の個別業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,500	2.1	12,500	7.6	13,100	8.0	7,900	32.0	67.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済政策への期待やそれに伴う円高是正、株価上昇の動きを背景に回復の兆しが見えつつあり、景気回復への期待も高まりつつあります。

一方、海外におきましては、米国では緩やかな景気回復の兆しを見せる中、12月には市場に資金を供給する量的緩和を縮小する方針を打ち出しましたが、欧州での債務危機の影響やアジアでの新興国を中心とした成長鈍化など経済の減速の影響もあり、総じて厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは顧客志向の新製品開発やマーケティング活動により新規分野への展開を図るとともに、既存分野におきましても高付加価値の製品を開発し、市場の活性化に努めてまいりました。

その結果、売上高は1,031億1千3百万円（前年同期比 11.3%増）となりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費の増加があったものの、売上が堅調に推移したことにより、営業利益は131億3千4百万円（同 25.4%増）、経常利益は134億3千6百万円（同 22.7%増）、四半期純利益は81億8千6百万円（同 15.5%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（日本）

外部顧客への売上高は、675億9千1百万円（前年同期比 2.5%増）となりました。

二の腕や太もものぷつぷつ・ざらざらの治療薬「メンソレータム ザラプロ」、日本初の処方設計でかきむしりたくなる乾燥肌の治療薬「ヘパソフトクリーム」をはじめとしたスキンケア医薬品が好調に推移いたしました。また、年齢を重ねるごとに気になる男のニオイを徹底ケアするデオドラントスキンケアブランド「デ・オウ」が好調に推移いたしました。9月に発売した次世代型プラチナとコラーゲンネットワークに着目し、エイジングに立ち向かう新しい基礎ケアシリーズ「オバジ アクティブサージ プラチナイズド」をはじめとする「オバジ」ブランドも好調に推移いたしました。

一方で「肌研（ハダラボ）」につきましては、8月に発売した「極潤（ゴクジュン）3D形状還元ゲル」やリニューアル発売した「極潤（ゴクジュン）」シリーズが好調に推移したものの、今年3月の全面的な刷新による一時的な出荷反動減もありブランド全体としては減収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、販売促進費等が増加しましたが広告費の効率的な活用により、94億1千7百万円（同 19.4%増）となりました。

（アメリカ）

外部顧客への売上高は、45億1千1百万円（前年同期比 13.5%増）となりました。

米国経済においては、個人消費の堅調な推移により緩やかな回復傾向が見られたものの、市場競争の激化により、厳しい経営環境が続いております。このような状況のもと、スキンケア関連で主力製品の「ソフトリップ」が減収となったこと等により、現地通貨ベースでは減収となったものの、為替換算の影響により増収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、販売費及び一般管理費の増加により、5千7百万円の損失（前年同期のセグメント利益は3億3千3百万円）となりました。

(ヨーロッパ)

外部顧客への売上高は、35億4千2百万円(前年同期比 18.7%増)となりました。

ヨーロッパは債務危機の影響により景気の回復が遅れる中、為替換算の影響もあり増収となりました。

セグメント利益(営業利益ベース)につきましては、広告費の効率的活用に努めたこと等により4億1千4百万円(同 52.9%増)となりました。

(アジア)

外部顧客への売上高は、260億2千3百万円(前年同期比 41.2%増)となりました。

中国をはじめアジアへの積極展開を進めている「肌研(ハダラボ)」や男性用化粧品「メンソレータム メン」、日やけ止め「サンブレイ」などのスキンケア関連に加え、アイケア関連も好調に推移し、増収に寄与いたしました。

セグメント利益(営業利益ベース)につきましては、広告費及び販売促進費の増加があったものの、増収が寄与したことにより30億3千5百万円(同 68.2%増)となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客への売上高は、14億4千4百万円(前年同期比 10.5%増)となりました。

セグメント利益(営業利益ベース)につきましては、9千万円(同 7.1%増)となりました。

(注)上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は1,611億5千5百万円となり、前連結会計年度末より105億1千2百万円増加しました。これは、投資有価証券が26億4千万円、商品及び製品が24億7千7百万円、受取手形及び売掛金が19億3千1百万円、有形固定資産が19億8百万円増加したこと等によるものであります。

負債総額は626億6千5百万円となり、前連結会計年度末より57億9千3百万円増加しました。これは、未払法人税等が12億円、賞与引当金が10億5千1百万円減少した一方、短期借入金が53億7千5百万円、支払手形及び買掛金が22億円増加したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては984億9千万円となり、前連結会計年度末より47億1千8百万円増加しました。これは、純資産の減少要因である自己株式が53億1千8百万円増加した一方、利益剰余金が60億7千万円、為替換算調整勘定が29億8千万円、その他有価証券評価差額金が10億4千4百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
平成26年3月期	143,500	17,300	17,400	11,200
平成25年3月期	129,146	14,380	14,730	8,087
増減率(%)	11.1	20.3	18.1	38.5

通期の業績につきましては、平成25年11月12日に公表した業績予想の当期純利益を上方修正いたします。

平成26年2月7日に開催された当社の取締役会において、中国で化粧品等の輸入販売や美容サロンを経営する現地法人「エピステム・トレーディング(上海)社」を解散することが決議され、これに伴い発生する特別損失及び法人税等調整額の影響等を見込んだことによるものであります。

なお、通期の連結業績予想に用いた為替レートは〔98円 = 1 U S ドル〕と前回公表時から変更はありません。

上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,868	20,512
受取手形及び売掛金	31,896	29,645
電子記録債権	-	4,181
商品及び製品	11,397	13,874
仕掛品	1,480	1,460
原材料及び貯蔵品	6,579	7,214
その他	6,300	7,017
貸倒引当金	56	107
流動資産合計	77,467	83,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,965	20,218
機械装置及び運搬具(純額)	10,389	10,873
その他(純額)	14,403	15,574
有形固定資産合計	44,758	46,666
無形固定資産		
のれん	766	622
その他	1,241	1,313
無形固定資産合計	2,008	1,936
投資その他の資産		
投資有価証券	18,537	21,178
その他	8,541	8,645
貸倒引当金	670	1,071
投資その他の資産合計	26,408	28,752
固定資産合計	73,175	77,355
資産合計	150,643	161,155
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,151	12,352
短期借入金	5,611	10,987
未払費用	19,133	19,293
未払法人税等	2,914	1,713
賞与引当金	1,979	928
役員賞与引当金	30	22
返品調整引当金	1,180	750
売上割戻引当金	2,760	2,330
関係会社整理損失引当金	-	130
その他	5,793	5,894
流動負債合計	49,554	54,401

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
固定負債		
長期借入金	1,578	1,008
退職給付引当金	2,013	2,370
役員退職慰労引当金	80	63
その他	3,643	4,820
固定負債合計	7,316	8,263
負債合計	56,871	62,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,408	6,411
資本剰余金	5,527	5,530
利益剰余金	79,677	85,748
自己株式	273	5,592
株主資本合計	91,341	92,097
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	4,471	5,515
為替換算調整勘定	2,239	740
在外子会社の年金債務調整額	695	774
その他の包括利益累計額合計	1,535	5,481
新株予約権	573	568
少数株主持分	320	342
純資産合計	93,771	98,490
負債純資産合計	150,643	161,155

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	92,646	103,113
売上原価	38,285	41,717
売上総利益	54,361	61,395
返品調整引当金繰入額	30	-
返品調整引当金戻入額	-	430
差引売上総利益	54,331	61,825
販売費及び一般管理費	43,854	48,691
営業利益	10,477	13,134
営業外収益		
受取利息	90	179
受取配当金	354	336
持分法による投資利益	153	172
その他	168	127
営業外収益合計	766	815
営業外費用		
支払利息	134	137
為替差損	11	212
その他	148	163
営業外費用合計	294	513
経常利益	10,949	13,436
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,384
国庫補助金	319	-
特別利益合計	319	1,384
特別損失		
投資有価証券評価損	484	-
貸倒引当金繰入額	-	400
関係会社整理損失引当金繰入額	-	130
退職給付費用	-	168
デット・エクイティ・スワップ損失	-	999
特別損失合計	484	1,698
税金等調整前四半期純利益	10,784	13,122
法人税等	3,723	4,946
少数株主損益調整前四半期純利益	7,061	8,176
少数株主損失()	29	10
四半期純利益	7,090	8,186

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,061	8,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	116	1,043
為替換算調整勘定	166	3,013
在外子会社の年金債務調整額	10	79
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	273	3,978
四半期包括利益	7,334	12,154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,366	12,132
少数株主に係る四半期包括利益	32	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年9月12日開催の取締役会において、会社法第459条第1項及び当社定款の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付けを行うことを決議し、普通株式4,218,600株、取得総額5,315百万円の自己株式を取得しております。なお、平成25年11月7日をもって取得を終了しております。

この自己株式の取得等により、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が5,592百万円となりました。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	65,946	3,974	2,984	18,434	91,339	1,307	92,646		92,646
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,011	942	1	1,713	3,668	14	3,682	3,682	
計	66,957	4,916	2,985	20,147	95,007	1,322	96,329	3,682	92,646
セグメント利益	7,886	333	271	1,804	10,295	84	10,379	97	10,477

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益の調整額97百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	67,591	4,511	3,542	26,023	101,668	1,444	103,113		103,113
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,177	973	3	2,322	4,477	12	4,490	4,490	
計	68,769	5,484	3,546	28,346	106,146	1,457	107,603	4,490	103,113
セグメント利益 又は損失()	9,417	57	414	3,035	12,809	90	12,899	235	13,134

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益又は損失()の調整額235百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。